

## TOP500 性能ランキング国内第1位のスーパーコンピュータ Oakforest-PACS の運用開始記念式典を開催

スーパーコンピューティング部門

東京大学情報基盤センター(センター長:中村宏)と筑波大学計算科学研究センター(センター長:梅村雅之)が共同運営する「最先端共同 HPC 基盤施設」(JCAHPC:Joint Center for Advanced High Performance Computing、施設長:中村宏)において設置されたスーパーコンピュータ Oakforest-PACS 運用開始記念式典が、12 月 2 日(金)に設置場所である柏キャンパスで開催された。同システムは 2016 年 11 月に発表された TOP500 性能ランキングにおいて国内第1位、世界第6位に認定されている。式典には、文部科学省研究振興局長・小松弥生氏を始め多くの来賓、東京大学 五神総長、筑波大学 永田学長、及び開発に携わった多くの関係者が列席し、日本最高性能のスーパーコンピュータ運用開始を祝った。中村宏施設長は式辞で、「スーパーコンピュータに対するニーズの高まりに対し、世界と肩を並べる計算能力を持ったマシンを運用することにより、共同研究や人材育成の現場において、より一層の社会貢献を行いたい。」と決意を述べた。今後、Oakforest-PACS は 2017 年 3 月末までの試験運用プログラムによる利用を経て、2017 年 4 月より各種共同利用・共同研究プログラムに供される予定である。

また、式典に先立って行われたシンポジウムでは、梅村雅之副施設長のあいさつに続き、筑波大学計算科学研究センター・副センター長 朴泰祐教授、理化学研究所計算科学研究機構・フラッグシップ2020プロジェクトリーダー 石川裕氏、東京大学情報基盤センター 埴敏博准教授の講演が行われた。



式辞を述べる中村施設長と式典会場



式典でのテープカット。左から田中富士通社長、中村施設長、五神東大総長、小松振興局長、永田筑波大学長、梅村副施設長